

日産厚生会 玉川病院南館

Nissan Tamagawa Hospital South Pavilion

No. 05-015-2010作成

新築
病院

発注者	財団法人 日産厚生会	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	KAJIMA DESIGN	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	鹿島建設	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

変化に柔軟に対応する構造と設備

変化への柔軟性と穏やかな時間と空間の創出

玉川病院は、緑豊かな閑静な住宅街に立地する地域密着型の病院である。刻々と変化する医療情勢への対応と病院全体の高機能化を図るため、閉鎖されていた旧病棟跡地に、本棟に接続するかたちで増築棟が建設された。病床数は合わせて389床、内増築棟は57床。

計画にあたっては「サスティナブル（持続）」と「ジェントル（優しさ）」の2つのコンセプトを掲げ、弊社で開発した「可変ホスピタル」を採用した。常に時代のニーズに対応した適切な医療を可能とする柔軟性のある骨格をつくるとともに、明快なゾーニング、やすらぎと品格を備えたインテリアで構成、患者だけでなく家族や医療スタッフに至るまで、人に優しい建築とし、既存の緑豊かな敷地に最善の医療を実践する場をつくりだしている。

医療建築の長寿命化に必要な可変性

日本の医療建築が強く影響を受ける医療制度や診療形態は、疾病構造の変化や医療技術の進歩により日々変化し続け、当然、それらが必要とする空間は多様化し、可変性が求められることになる。今回の計画では常に変化し続ける医療情勢のために「可変ホスピタル」を採用している。医療建築では清浄度、温湿度条件、高度医療機器対応などの設備計画の比重が高い。また、散在する水廻りや24時間無休で稼働するといった特殊性も持っている。このような特有の条件下で求められている多様性、可変性を実現するのが「可変ホスピタル」である。このシステムは、設備と構造躯体を分離したスケルトンインフィルの考えを軸として、病棟部門や外来部門に加え、従来対応が難しいとされていた画像診断部門や手術部門などの可変技術を開発し、医療建築の特殊性、個々の病院の条件を加味した医療建築としての柔軟な骨格の形成を目的としている。玉川病院ではロングスパンによる無柱空間、2重床、外部設備シャフトを組み合わせてデザインした。

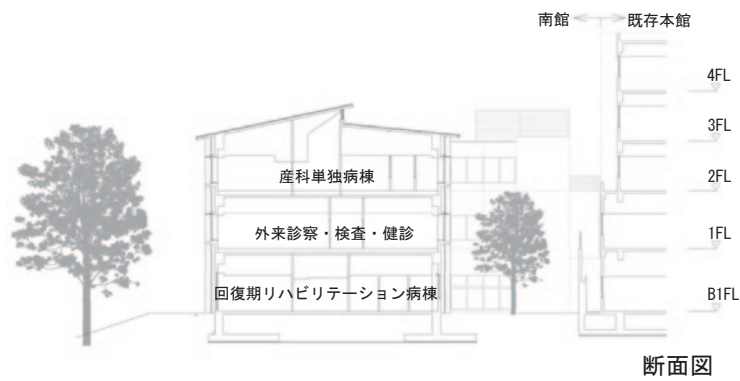


南側外観



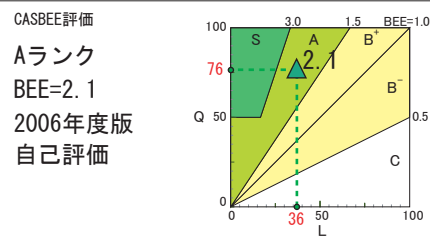
中庭を見る

写真右手の既存本館は故吉村順三氏による設計。庇、出窓、下見張風の金物などのデザインを継承している



建物データ

所在地	東京都世田谷区
竣工年	2009年
敷地面積	20,885m ²
延床面積	2,544m ²
構造	RC造
階数	地上3階



可変ホスピタル —更新可能な構造・設備計画

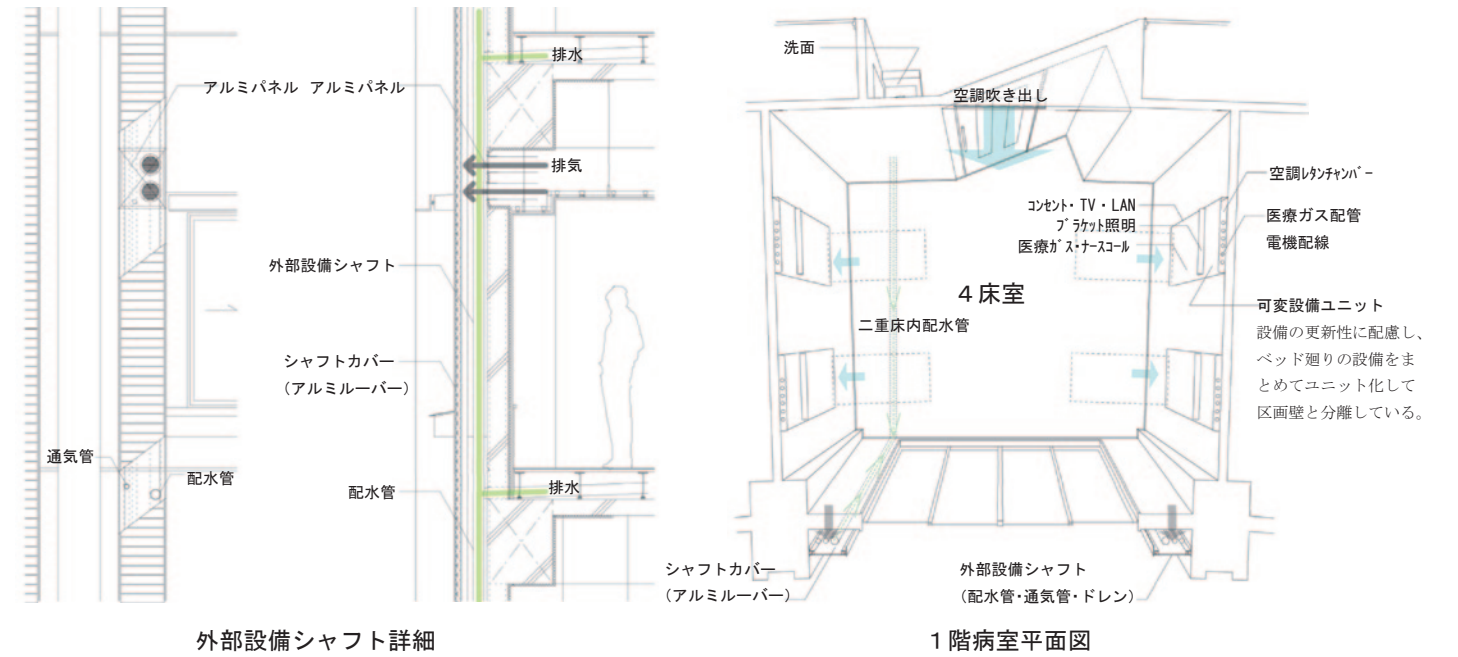
アンボンドPCを採用した大スパン構造で内部の柱をなくし、機能的で自由度の高いプランニングを可能にした。床は全面二重床（最下階はピット）として将来の水廻りの変更時に下階に影響がなく改修が可能である。各スパンごとに柱脇に設備シャフトを設置、外部化して設備のメンテナンス性、更新性を高めている。梁・スラブにはスリーブがなく、各シャフト部に、均一にダクト用パネル開口と排水・通気管スリーブを設けている。



躯体と分離した設備



16mの無柱空間



環境への配慮

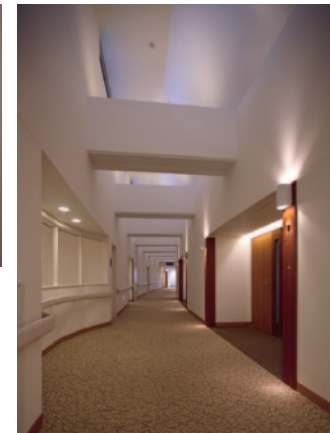
国分寺崖線に位置する敷地は緑豊かな傾斜地である。低層に抑え、勾配屋根とした外観は周辺環境と調和し、木々に埋もれるように行む。保存された樹木は病室の窓面に広がり、療養環境の向上にも寄与している。出窓には庇を設けて日射を制御し、勾配屋根を利用したハイサイドからの自然採光は、病棟の中廊下を柔らかく光で満たすように計画した。



病院全景 (手前が南館)



病室の窓からみえる既存樹木



3階病棟廊下



南側庇のある出窓

設計担当者

統括：植野斜／建築：濱野拓哉、星野大道／構造：畠本斉、福島出、大井英之
設備：小林直樹、吉田真、釜谷文雅、久良知亜以子
インテリア（協力）：藤イリア 丹藤翠、水上敬、藤原愛、中澤祥子

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 3. 対応性・更新性 (スケルトン&インフィル、ロングスパン、設備外部シャフト)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (低層、勾配屋根、既存に合わせたデザインエレメント)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (既存樹木の保存)
- LR1. 1. 建物の熱負荷制御 (庇の深い外装)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (自然換気、自然採光、ハイサイドライト)
- LR3. 3. 周辺環境への配慮 (既存樹木の保存)